

山梨県早川町の総合事業について（総合連携計画策定調査）

策定調査

現況及び課題

- 本町における路線バスは、隣町の身延駅と奈良田集落間、身延駅と雨畑本村集落間を運行する2路線である。
- 2路線とも赤字路線であり、町から経費を負担し民間業者が運行を行っている。
- 本町の住民は高齢者が多く、バスの利用者も高齢者が大半であり、病院などの福祉施設への移動手段として利用している。
- 南アルプスの麓に位置する本町は、登山や温泉に訪れる観光客が多く、身延駅からバスを利用して訪れる観光客も少なくない。

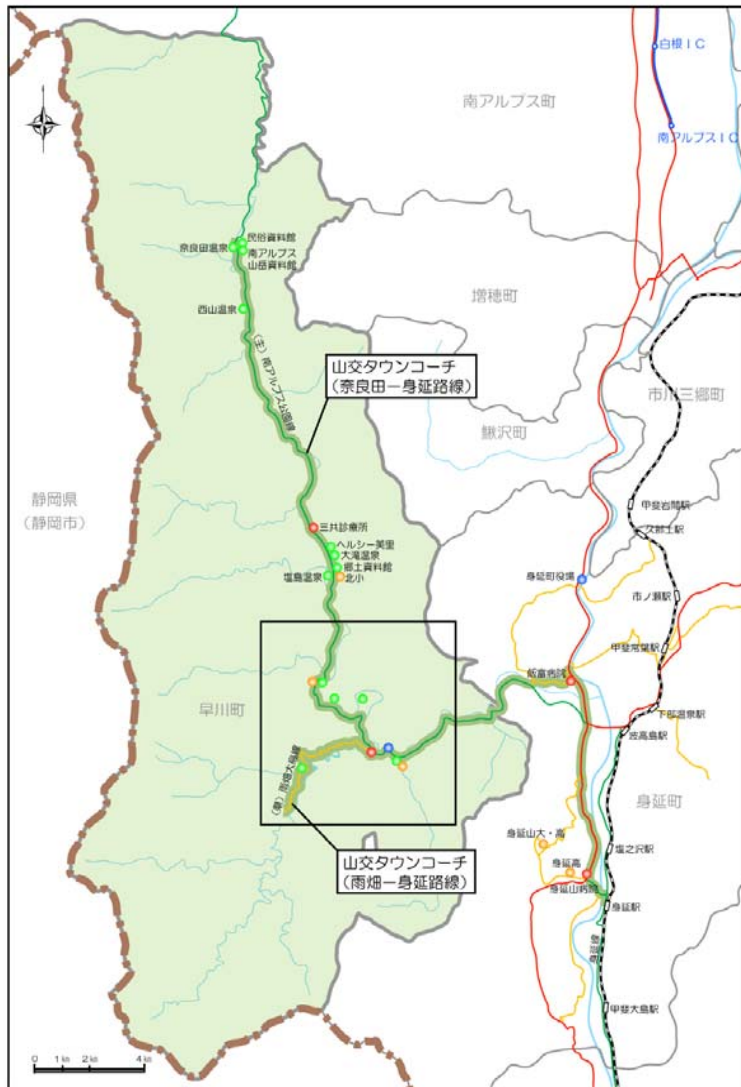
活性化の目標・方向性

- 高齢者や観光客の移動手段として、近隣商業圏や鉄道などの交通機関へのアクセスの利便性をはかり、利用促進に向けた運行形態を構築する。
- スクールバス、福祉バスなど、他の事業の利活用を更に促進し公共交通網の再編をすすめる。

実施する事業の内容

- 早川町公共交通総合連携計画策定調査(平成21年度)
 - 公共交通に関する諸調査の実施 公共交通を取り巻く諸環境調査、住民意向調査、利用実態調査などの実施。
 - 公共交通整備の事業計画策定 路線バス、スクールバス、福祉バスの各事業毎の計画策定。
 - 公共交通マネジメント計画策定 各事業毎の需要推計、収支及び事業効果の検討。

早川町公共交通総合連携計画策定調査事業実施区域



凡例		
—	高規格道路	【主要施設】
—	一般国道	
—	主要地方道	
—	一般県道	
—	市町村道	
- - -	鉄道 (身延線)	● 役場
—	山交タウンコーチ	○ 学校
		● 医療施設
		● 観光施設